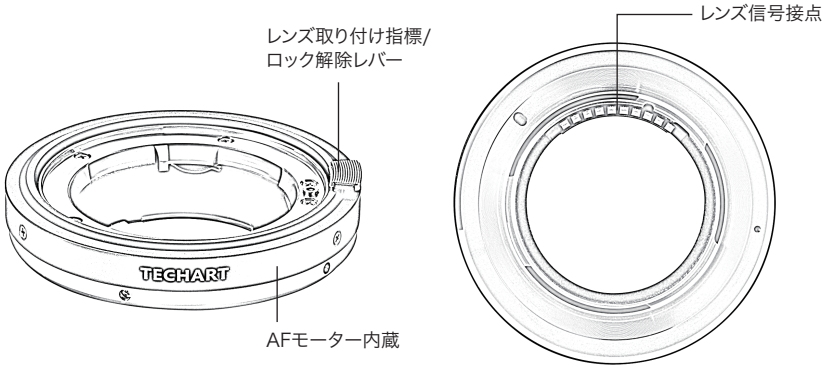
TECHART

このたびはマウントアダプターをお求めいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全にお取り扱い頂くため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。また、この説明書はお読みになった後、いつでもご覧になれるよう大切に保管して下さい。

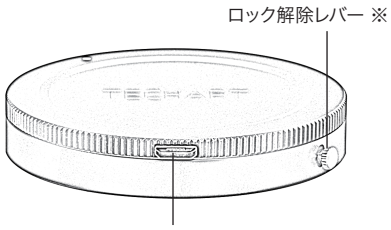
LM-EA9

ライカMマウントレンズをソニーα.Eマウント規格のミラーレスカメラでAF動作させる画期的な電子マウントアダプターです。レンズ側のマウント面を前後に動かしてピントを合わせる仕組みになっています。ボディ側マウントの電子接点により、各種情報をボディに伝達します。

［各部の名称］



［ 付属 USB DOCK ］



※マウントアダプターから外すときは、レバーを上に引き上げてロックを解除し、左右どちらかに回して取り外します。

【特徴】

- モーターを4つ搭載した新しい駆動ユニットを採用し、前モデルよりも高い耐久性と静粛性を実現
- カメラケースやレンズと干渉しにくいリング状のスマートなデザイン
- ボディの設計と加工方法を改善することで、より高い剛性と小型化を実現
- マニュアルのMマウントレンズでAF撮影が可能
- AF-S、AF-C、顔検出、瞳AFに対応
- レンズの最短撮影距離を短縮（可動部分の繰り出し量：4.5mm）
- USB DOCKからファームウェアアップデートが可能
- 設定した焦点距離（24種）を、Exifデータに記録可能
  （※レンズ交換やズームで焦点距離が変わる度に再設定が必要になります。）
- アダプター内部の植毛加工により内面反射を抑制
- 別売りのマウントアダプターを組み合わせることで、M42/ニコンF/ヤシカコンタックスなどのMFレンズをAF化可能

［対応機種］

ソニーα1、α9 II、α9、α7R IV、α7 IV、α7S III、α7R III、α7 III、α7C、α7R II、α7 II、α6600、α6500 、α6400、α6300、α6100など、高性能な像面位相差AF搭載のEマウントカメラ

【ご使用前の設定】

〈 露出について 〉

撮影時は「カメラボディ」のF値を常にF2.0に設定してご使用ください。撮影画像に反映される実際の絞り値は、レンズの絞りリングから自由に調整可能です。

〈 シャッター半押しAELの設定 〉

レンズの絞り込み撮影時に適切な露出を得る為、MENUから「シャッター半押しAEL」を「切」に設定します。

〈 焦点距離の設定 〉

ボディ内手ブレ補正機構を適切に動作させ、AF性能を最大限に発揮するには、アダプターの焦点距離データの設定を切り替えておく必要があります。また、設定することで、Exifデータにレンズの焦点距離を正しく記録することができます。

設定例：50mmレンズの場合
1. カメラ側の絞り値をF8に設定します。
2. シャッターを深く押し込みます（シャッターを切る）。
3. カメラ側の絞り値をF2.0に戻し、撮影を行います。

ファンクションメニュー（F値）	レンズの焦点距離	ファンクションメニュー（F値）	レンズの焦点距離
F2.8	12 mm	F11	80 mm
F3.2	15 mm	F13	85 mm
F3.5	18 mm	F14	90 mm
F4	21 mm	F16	135 mm
F4.5	24 mm	F18	150 mm
F5	28 mm	F20	180 mm
F5.6	35 mm	F22	200 mm
F6.3	40 mm	F25	250 mm
F7.1	45 mm	F29	300 mm
F8	50 mm	F32	400 mm
F9	60 mm	F36	600 mm
F10	75 mm	F40	800 mm

※カメラ側のフォーカスモードダイヤルや「Fn」メニューからフォーカスモード設定でMFに切り替えれない場合は、MENUから[再押しAF/MFコントロール]をカメラ本体のカスタムキーに設定して切り替えてください。各種設定方法は、カメラの説明書をご覧ください。

【撮影方法】

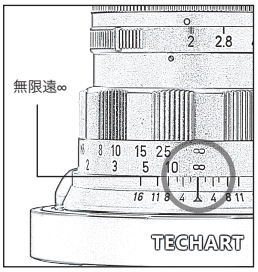
■ AF（オートフォーカス）の場合

AFの合焦速度や精度などは、カメラ本体の像面位相差センサーの性能・入射光量(レンズの明るさ)に依存するので、レンズの絞りを絞るほど合焦速度が遅くなり、ピントが迷いやすくなります。まずは、レンズ側の絞りを開放にした状態でピントを合わせ、その後好みの絞り値で撮影してください。

※レンズの光学性能により、AFでピントを合わせにくいときは、カメラのフォーカスモードをシングルAFに設定し、中央のフォーカスエリアでピント合わせを行うか、マニュアルフォーカスでピント合わせを行って撮影してください。

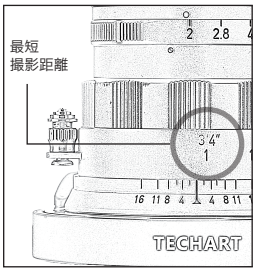
〈絞り優先（A）モードで静止画を撮る場合〉

① 絞り優先（A）モードに切り替えます。
② レンズのフォーカスリングの距離目盛を無限遠に合わせます。
③ カメラ側の絞り値をF2.0に設定します。
④ レンズ側の絞りリングを回し、開放絞りにします。
⑤ カメラを被写体に向け、シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
⑥ シャッターボタン半押しのまま、レンズ側の絞りリングで好きな絞り値にします。
⑦ シャッターを深く押し込みます（シャッターを切る）。



〈被写体に寄って撮影したい場合〉

フォーカスリングの距離目盛を最短撮影距離（無限遠と反対）に合わせてレンズを被写体に向けシャッター半押しにするとヘリコイドが自動で繰り出し、レンズの最短撮影距離よりも近寄って撮影することが可能になります。



■ MF（マニュアルフォーカス）の場合

カメラ本体側のメニューかダイヤルで［MF］を設定、LM-EA9の繰り出し部分を最短位置に戻ると、MFでの撮影が可能になります。

【その他のファンクション設定】

カメラ側を各絞り値(データ設定用)に設定して、シャッターを深く押し込む（シャッターを切る）と有効になります。

F45	AF(オートフォーカス)で撮影後に電源オフしても、アダプターの繰り出し部分は無限遠位置に戻りません。再起動しても繰り出し部分は動かず、ピントを固定したまま撮影したい場合に便利です。設定を解除するには、F45で再度シャッターを切ってください。
F51	ハイスピードAFモード(出荷時の設定) モーターが最速で動作しますが、レンズのF値が0.95や1.1など明るい場合、AFが迷い、合焦しないことがあります。
F57	スローAFモード モーターが低速で動作し、AF合焦率を向上させます。
F90	リセット モーターが正常に動作しない時に使用します。

使用上のご注意 ⚠

・レンズの個体差、経年変化や損傷による形状の変化等により装着感（固い、緩い、若干のあそび等）が通常と異なる場合があります。
・メガネ付きレンズはアダプターと干渉し装着できません。また、すべての互換レンズの取り付けや、すべての撮影機能の動作を保証するものではありません。
・重量500gを超えるレンズに使用すると、故障や動作不良の原因となる場合があります。
・アダプターの取り付け・取り外しは、カメラ本体の電源を「OFF」にしてから行ってください。
・本製品をカメラに装着している時は カメラの電源がオフであっても常にカメラ本体のバッテリーを消耗する場合があります。撮影時以外は（保管、長時間の持ち運びなど）本製品をカメラ本体から取り外すことをおすすめいたします。
・電子接点は汚さないようご注意ください。目視できない僅かな汚れでも動作不良の原因となります。
・高温になる場所に置かないでください。極端に温度が高い環境では、機材が故障したり変形するおそれがあります。
・マウントアダプターを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
・生産ロットにより仕様・デザインが写真と若干異なる場合があります。
・カメラ購入時のファームウェアバージョンにより、動作不良が発生する場合があります。互換性を向上させるため、アダプターのファームウェアの更新をお待ちください。

※ファームウェアアップデート方法については、株式会社焦点工房のサポートページ(www.stkb.co.jp/support.html)でご確認ください。

株式会社焦点工房 | **TECHART**（テックアート）日本正規総代理店
〒465-0012 愛知県名古屋市名東区文教台2丁目203–2 TEL:052-778-7975 FAX:052-778-7976 http://www.stkb.co.jp